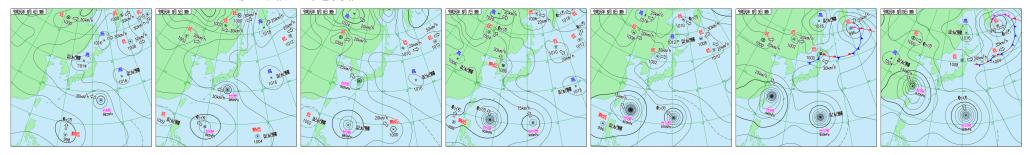
## ■天気図(8月4日~8月10日 ※毎日午前9時を掲載)



## 【今期間の天候について】

## ■気圧配置の特徴

4日はフィリピンの東海上で台風9号が発生。一方、台風8号は、太平洋高気圧の縁に沿うようにして、5日にかけて、日本の南海上を北西方向へ進んだ。6日午前5時頃、宮崎県宮崎市付近に上陸。その後、九州を縦断し、荒れた天気をもたらした。一方、午後3時にはマリアナ諸島近海で、新たに台風10号が発生した。台風8号は7日午前9時に朝鮮半島で勢力が衰え、熱帯低気圧となった。フィリピンの東海上にあった台風9号は発達しながら北上



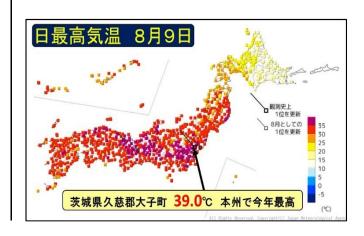
し、8日には「猛烈な」勢力で、沖縄県・先島諸島 を直撃。台風10号は期末にかけて、上空の風が弱 く、小笠原近海でほとんど停滞していた。

### ■降水

5日は台風8号周辺の湿った空気や日中の昇温による影響で、富山県富山市大山付近で1時間に約110mmの猛烈な雨が解析され、記録的短時間大雨情報が発表された。6日は台風8号の影響で、九州や四国で大雨となった。宮崎県や大分県内では、局地的に1時間に100mmを超える猛烈な雨を解析。徳島県那賀郡那賀町では24時間雨量が400mmを超える大雨となった。8日は台風9号が沖縄県・先島諸島を直撃した。沖縄県宮古島市・石垣島市を中心に、9日にかけて、200~300mmの大雨が降った。また9日は、山梨・栃木・群馬県内で局地的に猛烈な雨が降り、記録的短時間大雨情報が発表された。10日も低気圧や寒気の影響で、秋田県横手市西部付近で1時間に100mm以上の猛烈な雨が解析された。

## ■気温

今期間も日本列島は太平洋高気圧に覆われて、真夏の空気が居座った。最高気温は西・東日本で連日のように38℃台を観測。今期間、最も気温が高かったのは、茨城県久慈郡大子町で39.0℃。1978年の統計開始以来、観測史上1位の記録となった。連日の猛暑により、熱中症搬送者数も急増した。総務省消防庁によると、7月29日から8月4日の熱中症による救急搬送者数は18,347名と前週に比べ約3倍増加した。

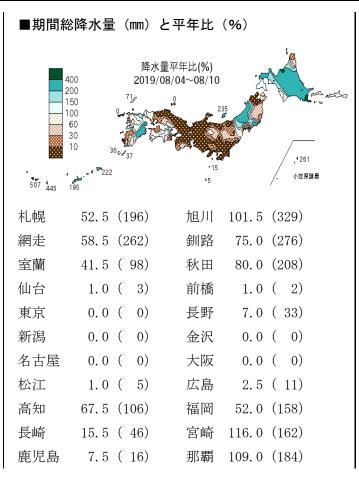


# ■今期間(8月4日~8月10日)の天候のまとめ

平均気温は、先週(7月28日~8月3日)に引き続き、太平洋高気圧に覆われる日が多く、真夏の空気が居座ったため、全国的に平年より高い所が多かった。特に、北陸や関東~東北の太平洋側で平年より3℃以上高かった。一方、北海道のオホーツク海側は平年より低く、網走では平年より0.5℃低かった。

降水量は、台風8号の影響を受けた九州を中心に多かった。福岡や宮崎は平年の1.5~1.6倍の雨量となり、高知はほぼ平年並みの雨量となった。台風9号が直撃した沖縄も雨量が多くなり、那覇は平年の1.8倍、先島諸島は平年の4~5倍の雨量だった。東北の日本海側や北海道も、平年の2~3倍の雨量の所が多かった。日照時間は、長い時間晴れた関東や東海、北陸を中心に、平年を上回った。今期間で最も日照時間が多かったのは、東京や前橋で、平年の1.8倍だった。一方、台風8号・9号の影響を受けた宮崎や沖縄は平年を下回る日照時間だった。北海道もオホーツク海側を中心に日照時間が少なかった。

#### ■平均気温(°C)と平年差(°C) +2.0 +1.0 0.0 小笠原諸島 札幌 24.0 (+1.3)旭川 22.2 (+0.3) 網走 19.3 (-0.5)釧路 18.7 (+0.7)21.6 (+0.9)27.8 (+2.6)室蘭 秋田 仙台 27.5 (+3.0)30.9 (+4.0)東京 28.3 (+2.6)29.9 (+3.2)長野 新潟 29.4 (+2.6)金沢 30.4 (+3.0)名古屋 30.4 (+2.4)大阪 30.5 (+1.5)松江 29.6 (+2.4)30.3 (+1.7)高知 28.4 (+0.6)福岡 29.5 (+1.0)長崎 29.5 (+1.3)28.0 (+0.6)鹿児島 30.0 (+1.3)29.0 (+0.2)



#### ■日照時間の平年比(%) 160 130 100 小笠原諸島 札幌 旭川 107 網走 67 釧路 室蘭 秋田 86 122 144 前橋 東京 180 仙台 119 182 長野 141 新潟 159 金沢 156 名古屋 大阪 136 157 松江 107 広島 高知 福岡 111 103 125 宮崎 鹿児島 長崎 108 87 115 那覇 68